

第5回吹田市総合計画策定委員会作業部会（全体会）議事概要

1 日時・場所

(1) 平成24年7月23日（月） 午後1時～3時30分 中層棟4階 全員協議会室

2 出席者

別紙（出欠一覧）のとおり

3 配付資料

- (1) 資料-1 現総合計画の施策大綱
- (2) 資料-2 作業部会全体会進行表
- (3) 資料-3 中間報告シート（作業部会順）

4 議事内容

(1) 策定委員会委員長及び副委員長あいさつ

委員長の富田副市長、副委員長の山中副市長からあいさつがあった。

(2) 第1作業部会から部会員変更の報告

第1作業部会の部会員のうち、部会長が美馬行政経営部次長から木下行政経営部総括参事へ変わったことを報告した。

(3) 各作業部会からの報告

各作業部会から中間報告シートの内容について説明があり、部会員から質問や意見が出された。

ア 第2作業部会（地域経済）

【質疑応答・意見事項】

意見1：基本目標2で、就労困難者として障がい者も想定しておいてもらいたい。第3部会でも障がい者の雇用について考慮しており、部局を超えて押さえておきたい。

回答1：市長の想いもあり、障がい者の雇用について事業者に呼びかけているところでもあるので、シートには入れていないが想定はしている。

質問2：基本目標2で、労働条件の整備とある。現在市内では非正規雇用の割合が高まってきているところであるが、ここでいう条件とは具体的に何を指すのか。

回答2：行政ができることは労働相談や企業への啓蒙などである。今年度から新たに企業振興ラインを設置し、事業所を訪問して、労働環境の向上を依頼している。労働者の条件を守る企業は業績も伸びるという話など訪問の中で積極的に情報提供していきたい。

イ 第1作業部会（行政経営）

【質疑応答・意見事項】

質問1：都市像ではなく「基本方針」、基本目標ではなく「基本姿勢」であるとのことだが、その理由を説明してもらいたい。

回答1：行政経営の観点から都市像は示しがたい。行政としての基本姿勢・基本方針を述べるということにした。

ウ 第3作業部会（福祉・保健・医療）

【質疑応答・意見事項】

質問・意見なし

エ 第5作業部会（環境）

【質疑応答・意見事項】

質問1：環境基本計画を見直し中のことだが、策定委員会等への今回の報告はこれでいくのか。検討の作業として、中間報告シートに平成32年の都市像や基本目標を考えるように説明を受けた。第5部会だけ現行計画の報告を行うのはいかかなものか。分野別計画との整合の話は基本的な話であるため、例えば第1部会など他の場で検討する必要があるのではないか。

回答1-1：第1部会などで考え方を整理してもらえれば良い。

回答1-2：都市計画マスタープランも現在改訂作業中で、事務局とは連携会議を随時開催している。総合計画の審議はこれからで、どこまで環境基本計画の審議と整合できるかは、時間的なスケジュールもあり手探り状態である。ただし、分野別計画と総合計画の調整はどこかでしなければならないと感じている。

意見1-3：分野別計画と総合計画の関係の整理は、第1部会ですべきことなのだろうか。環境基本計画は幅広い観点からの計画なので扱いが難しい面があるが、基本的には部会ごとに都市像を話し合っただけで練っていけばいいと思っている。

回答1-4：第1部会は計画フレームを話し合う場であるため、総合計画の事務局が策定のスケジュールを考慮しながら調整することになるかもしれない。

回答1-5：事務局と連携して見直し作業をしていきたい。

質問2：第4部会では平成32年の目標を思い描きながらシートに記入した。第5部会のように決めないでもいいのか。

回答2：平成25年の12月に策定を目指してスケジュールを組み立て、その中で都市像を定めるやり方も決めた経緯がある。基本的には平成32年の目標を定めるやり方で進めていきたいが、こうした方法には問題も出てきているため、連携会議等を適宜開いて調整していきたい。

オ 第2作業部会（市民自治）

【質疑応答・意見事項】

質問1：新たな地域組織を検討とのことだが、地域委員会のことだとすると、34の小学校区のうち平成32年には17地区で設立というイメージか。連合等の組織がすでにあるが、地域委員会に完全に切り替えるという意味でとらえて良いか。

回答1：具体的なイメージは定まっていない。平成26年度中に制度設計を行い、27年以降モデル的に立ち上げを実施していく想定。市長の意向を汲んでいる。

意見2：現在地域コミュニティには組織があり、この構想を知ると驚かれると思う。もう少し婉曲的な書き方にしようか。

回答2：地域には強固なコミュニティがあるため、それらの協力は欠かせない。フォーラムや市長懇談会を開催しながら、理解を得ていきたい。

質問3：都市像の概要文には「まちづくりの主体は市民です。まちづくりの基盤になるのは地域コミュニティです。」と記述されているが、これは市民と行政の「協働」から方向転換するという事か。また地域ではコミュニティ組織以外にも事業者やNPO等も活動している。これらを見捨てることはできないのではないか。

回答3：協働より市民主体であるべきと考えている。

質問4：広聴の充実という視点が入っていないのはなぜなのか。

回答4：メインの柱立てにふさわしくなかったため、省略した。

意見5：他の部会でされているように、省略する理由を説明してもらいたい。

回答5：市民自治を基本目標に据えたため、広聴の充実を記載するのは違和感があった。

意見6：そもそもの総合計画の位置付けについて考えを共有しておきたい。市長の交代ごとに総合計画の方向が大きく転換するのは良くない。基本的な大枠はそう簡単に変わるべきではない。

回答6：市長との関係については複雑な面がある。ただし、総合計画の方向は大きく変わるべきものではないと考えている。都市内分権の目的は地域の実情に合ったまちづくりをすることであると思うが、そういう大きな目標を都市像のところに書けばいいのではないか。あまり具体的な文言は都市像になじまない。また、地域の人でも総合計画を読むので、繊細な内容については地域との調整は必要である。

意見7：現在書きぶりがばらばらになっているので、調整が必要。

カ 第6作業部会（快適な都市形成）

【質疑応答・意見事項】

意見1：基本目標の数が多いが、整合を取る必要はないだろうか。また、第3部会や第7部会と都市像の内容が重複してしまっているため、こちらも調整が必要。

回答1：景観のための意識啓発と景観形成の取組の二つを、一本化した。他部会との調整はこれまでなかった。都市像も、無難だが特徴に欠けるものになってしまっているかもしれない。

意見2：概要文の2、3段落目の内容も、後半が重複している。

キ 第4作業部会（子育て・教育）

【質疑応答・意見事項】

意見1：本市の抱える問題として少子化の進行が挙げられる。第4部会の担当する課題として、少子化にどう対応するかがあると思う。これをもう少し戦略的に打ち出せないか。

ク 第7作業部会（安全・安心）

【質疑応答・意見事項】

意見1：防犯についての取り組みは、警察との連携が欠かせないため、そのことについて表記する方がいいと思われる。

回答1：検討する。

ケ 第2作業部会（人権・文化）

【質疑応答・意見事項】

質問・意見なし

(4) 事務連絡

事務局からの連絡事項は、電子会議室を用いて伝えるので確認をお願いしたい。

委員名		2012/7/23 第5回（全体会）	
第1部会	木下行政経営部総括参事		
	中川財政室長	×	
	畑澤総務室長		
	牧内人事室長	×	
	乾資産経営室長		
	菊池情報政策室長		
	曾呂利市民生活室長	×	
	堀税務室長		
	榎井会計室長		
	有田税務室税制課主任		
第2部会	中江地域経済振興室長		
	辻井人権平和室長		
	石田市長室長		
	大竹契約検査室長		
	大森市民相談室長		
	吉見男女共同参画室長		
	渡部文化のまちづくり室長		
	稲岡地域総務室長		
	竹内地域自治推進室長		
	有吉男女共同参画センター主査		
第3部会	澤野地域福祉室長		
	岸上保健センター所長		
	藤本子育て支援室長		
	吉岡こども発達支援センター長		
	大嶋福祉指導監査室長	×	
	秋山高齢福祉室長		
	田淵障がい福祉室長		
	後藤国民健康保険室長		
	安田病院総務室長		
	野口医療事務室長	×	
第4部会	富田教育政策室長		
	北野こども育成室長		
	川本教育総務室長		
	松浦学校管理室長		
	橋本学校教育室長		
	堀中保健給食室長		
	小松教育センター所長	×	
	赤阪生涯学習推進室長		
	今川青少年室長	×	
	木野内子育て青少年拠点夢つながり未来館副館長		
第5部会	山本スポーツ推進室長		
	田中友梨係員（青少年活動サポートプラザ勤務）		
	後藤環境政策室長		
	山口地域環境室長		
	川端資源循環室担当総括参事		
	西廃棄物処理施設整備室長		
	安部環境政策室主任		
	小松環境政策室主任		
	第6部会	松本都市整備室長	
		久保田道路公園企画室長	
矢野開発審査室長			
樽上住宅政策室長			
山本吹田操車場跡地まちづくり室長			
七牟礼千里再生室長			
仙波道路公園管理室長			
福田道路公園整備室長		×	
宮田下水道経営室長			
伴水循環室長			
第7部会	山口水再生室長	×	
	松木水道部総括参事		
	佐々木工務室長		
	清水浄水室長		
	近藤経営室料金課主任		
	木戸危機管理室長		
	村上総務予防室長		
	山崎警防救急室長		
	山田指令情報室長	×	